

平成 27年 3月 27日

## 第3回 大阪市立 喜連北小学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立喜連北小学校

校 園 長 名 木 下 博 印

日 時	平成27年3月16日(月) 午後7時15分～8時40分	
場 所	大阪市立喜連北小学校 校長室	
出席者	植西 正子(副会長) 西川 美紀(委員) 大崎 伸一(委員) 鍋谷 洋子(委員) 下貞 睦美(委員) 木下 博(校長) 西田恵三(教頭)	
議題	(1) 学校の現況・様子について (2) 運営に関する計画(最終評価)について (3) 平成26年度各種状況調査結果について 全国学力・学習状況調査、体力運動能力・。運動習慣調査 その他(より良い学校をアンケートについて) (4) 学校地域間連携について 施設・設備管理について	
協議 要旨	協議の結果	意見の概要
	(1) 学校の現況について 学校教育目標 「自ら学ぶ子」「思いやりのある子」「きたえる子」 を目指して年々実現の方向で成果が現われてきている。中庭の芝生化によるよい自然環境の下で元気な子供が増えてきている。子どもたちの外遊びの増加、けがの減少、公共心・規範意識の高まりなどが感じられるようになってきた。 ・地域連携について 保護者が来校する機会を増やす 年1回の日曜参観 〃 図工作品展、学習発表会 年5回の参観授業 年6回の土曜授業 図書館ボランティアを募集 ゲストティーチャーを招いて学校公開	・良好な教育環境の下で子どもはすくすくと成長する。芝生設置による子どもの学校生活の変容ぶりをネットで公開し、地域に公表してほしい。また、芝生を利用して、学校と地域の交流を進められないだろうか。 まずは、連合町会で毎月第二日曜に校庭の清掃に入る計画がある。 ・勤務の制約はあるだろうが、教職員も地域行事(2学期は、清掃活動・餅つき大会など)や「はぐくみネット」の催し物に参加してもらえないだろうか。 ・はぐくみネットワークの活動が活発になってきた。いきいきの応援があったり、副区長や他地域PTAの人や、連合町会会長さんまでが参観に来てくれた。この地域の子どもは大人によく見守られ、上級生が下級生の面倒をよく見、縦割り班でもいじめがない。この良い習慣をさらに小学校とコラボさせていく必要がある。喜連北小学校の

	<p>(2) 運営に関する計画 最終評価 学校の運営に関する計画をもとに行った学校の自己評価と学校関係者の評価はほぼ差異はなく、これからの学校の役割と責任の重大さを改めて確認した。</p> <p>学校関係者・地域からの支援に感謝したい。校長が行う学校運営に対して、今後もさらに率直な質問、様々な課題指摘等を受け入れ、地域の力をもっとお借りしていきたい。</p> <p>(3) (全国学力・学習状況調査について ・学力テストの結果は大阪はどんどん上がっているが、まだ全国レベルまでには至っていない。本校の子どもたちの学習態度、家庭学習の時間も若干増えてきている。本来もっと学力はあるはずである。研修部・学力向上委員会を活性化し、テストを受ける意欲・関心をさらに高めていきたい。今後、体力・運動能力の公表についても積極的にホームページを利用し、子どもたちの運動能力向上をめざしたい。</p>	<p>学校だよりを全町会に回覧することで、学校からの発信を増やしてほしい。地域で子どもを育てる気風は昔から存在し、他地域にはない自慢できるような組織も確立している。学校はさらに地域との距離を縮める努力をしながら地域の力をもっと使ってほしい。</p> <p>・学校の自己評価に関して、達成状況を数値化しているところは、とてもわかりやすく評価できるが、今後客観評価との差をどう埋めていくかが課題である。</p> <p>・教職員の指導力の向上や、学校間の子どもの学力の向上心に刺激を与えることにつながるので望ましい。</p> <p>※今後の課題 ・協議会委員も極力学校行事に参加するようにしている。学校教職員の取り組みについてはよく理解できるが、協議会に参加していない喜連北小地域の人たちへの啓発も忘れないでほしい。</p>
協議資料	<p>① 平成 26 年度 運営に関する計画（自己評価 目標別シート）最終評価の結果 ② 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果（ホームページにアップ仕様） ③ 全国学力・学習状況調査検証シート ④ 学校行事（26 年度・27 年度） ⑤ 授業力アンケート集計結果 ⑥ 「よりよい学校をめざして」アンケート集計結果・考察</p>	
備考	<p>傍聴者[ 0 ]名</p> <hr/> <p>傍聴者なし 協議会会長（番匠武史）は病気入院のため、副会長（植西正子）が当長代理とする。来年度の協議会委員の検討</p>	